

多度中小たより

た ど なか しょう



多度山の新緑が鮮やかな頃となりました。

多度中小学校では、子どもたちの日常が軌道に乗り始めました。授業・休み時間の遊び・給食・掃除と一人ひとりの活躍の場が増えています。各教室を回っていると、真剣なまなざしで先生のお話を聞いている子、友達と相談しながら問題を解いている子、透明人間のはずの校長先生を見つけてにっこり微笑んでくれる子など、いろいろな姿を見ることができます。

今週末には授業参観があります。新しい環境での子どもたちの様子をぜひご覧ください。そして、授業に集中できるように見守ってあげてください。

校内の《きらり》さん！

始業式に生活指導の先生から「気づける子になろう」「気づいたことを行動できる子になろう」という話がありました。

校内を回っていると、トイレのスリッパをそっとなおしている子がいました。廊下を走っている子に、「走ったらだめだよ」と注意できる子がいました。

高学年の子が委員会等でがんばっている姿も頼もしく思います。

あいさつ運動・分団で低学年の子を思ってゆっくり歩く姿など、自分たちでよりよい方に進もうとしている多度中小学校の子どもの姿に感心しています。

あいさつ運動・分団で低学年の子を思ってゆっくり歩く姿など、自分たちでよりよい方に進もうとしている多度中小学校の子どもの姿に感心しています。

自分たちでよりよい方に進もうとしている多度中小学校の子どもの姿に感心しています。



きれいに揃っている
トイレのスリッパ



1本1本取り出しやすい
ように立っている傘たち



1年生のスピードに
合わせて歩く分団



給食の時間に、おかわりしている姿を見てうれしくなりました。給食を作ってくださっている人たちも、たくさん食べてくれることを願っていると思います。



食べられる量を調節しています。



前の人が終わるまでまっています。



ぐんぐんタイムでの真剣なまなざし

<お耳拝借①>

教育哲学者の森信三氏は、「しつけの三原則」を提唱されました。それは、「あいさつ」「返事」「後始末」の三つです。

「あいさつ」は、人と人とのつながりです。「返事」は、人の話を聞き、人の呼びかけにはっきり答えること・相手をきちんと受け止めることです。「後始末」は、椅子を入れる・履き物をそろえるなど、終わりを整えることであり、けじめをつけ、自分で自分を律することです。

この3つをしっかり身につけることが、社会の中で幸せに生きる基本だそうです。これらのことを身につけさせるには、学校と家庭との連携がとても大切です。まずは私たち大人が率先して行い、子どもたちに自然と身につくように示していきたいものです。



<学校ホームページ URL><http://www.kuwana-c.ed.jp/tadonaka-e/>
現在の ID は「tadonaka」、パスワードは「tadoyama1234」です。
*人物は個人が特定されないように加工させていただきます。